

◆市民の暮らしを守り、健康で安心できる社会の実現

防災マップをリニューアル

総合防災マップに地震対策や風水害発生時の避難に関する新基準を盛り込むなどリニューアルを図り、全戸配布します。また、パソコンやスマートフォンで閲覧、検索できる「ウェブ版」も作成します。

消防本部庁舎の整備

地域の消防防災および災害時拠点施設として現消防本部庁舎の改築が始まります。建物は5階建てで、平成30年11月には新庁舎での消防業務が開始されます。



▲消防本部庁舎

住宅の新築や改修を支援

子育て・新婚世帯の新築住宅の取得、省エネにつながる住宅の改修、移住者が市内で住宅を取得し改修を行った場合の経費の一部を支援します。

市民活動を応援

まちづくりを担う人材の育成や市民活動団体同士の交流のマッチングなどを行う市民活動センターの運営を行います。また地域づくり協議会を支援します。



▲市民活動センターの取組

市民まちづくりセンターの整備

公民館から移行した市民まちづくりセンターは、公民館の役割をベースにまちづくり活動の拠点としての役割を強めることとなり、今まで以上に重要な施設となりました。その役割を果たすため、老朽化により利用環境に課題がある北郷里まちづくりセンターの改築を実施します。



▲北郷里市民まちづくりセンター

過疎地域の暮らしを支援

市内で唯一過疎指定されている余呉地域の振興と自立を目的に生活支援や地域産業の創造等の事業に取組む余呉地域づくり協議会の取組を支援します。



▲余呉湖

高齢者の活躍を支援する地域づくり

高齢者の居場所づくりや住民団体による移動支援（買い物等の送迎）に必要な貸出車両の整備により、地域が取組む介護予防や生活支援活動を支援します。また、社会福祉協議会にサロン支援員を配置し、サロン同士の交流等をサポートします。

◆地域経済の活性化と持続可能な農林業の推進

小谷城スマートIC周辺6次産業化拠点創出事業

市内3つ目となるインターが開通しました。今後皆さまの暮らしの利便性を高め、地域の経営資源を生かしたアグリビジネスの実現や観光の振興、各企業の輸送力の向上、さらに企業進出など地域の発展に資する拠点として活用していきます。



▲小谷城スマートIC

森林ビジネスの創出

市産材の流通を支援し、一元化した供給体制を整え、同時に市産材を活用した商品づくりを支援し需要の確保も図ります。また、それらを包括的にコーディネートする「ながはま森林マッチングセンター」の業務支援を行います。

市内事業者の雇用機会の創出

首都圏学生と地元企業との交流会の実施や、都市圏の学生が地元企業に体験入社する機会を作ります。



▲地元企業体験入社説明会

◆都市基盤整備による魅力あるまちづくり

豊公園の整備

豊公園は、明治43年に作られた秀吉公ゆかりの公園で、現在の形となつて30年が経過し、老朽化が目立つため、市民の「いこいの場」として再整備します。駐車場を486台分整備するなどし、16面のテニスコートでのスポーツや桜並木の景観などを楽しんでもいただけます。



▲豊公園

産業文化交流拠点の整備

市役所跡地に都市の新たな魅力創造や活性化を図ることを目的として、図書館、まちづくりセンター、市民活動支援、地域福祉支援、産業支援の機能を備えた交流拠点整備に着手します。

長浜駅周辺の整備

実に50年ぶりの長浜の玄関口の再編です。駅南の商業施設モデカールに続いて、駅前ビル「えきまちテラス長浜」が完成。さらに駅北の旧郵便局跡地に民間事業者による集合住宅（高層マンション）の建設が進み、駅周辺が一新します。



▲事業者から提案のあった建築イメージ